

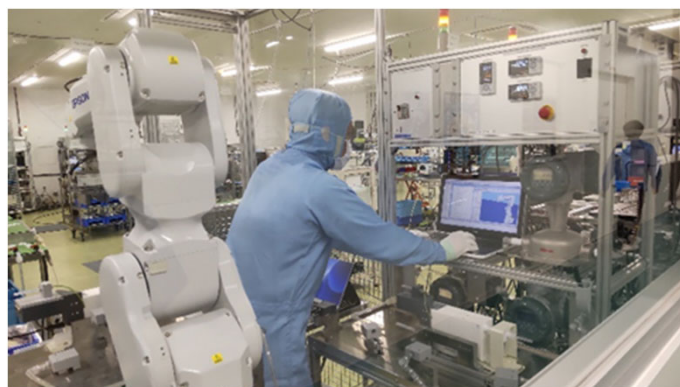
# 令和4年度 域外競争力強化促進事業費補助金の支援事例紹介

▶ 沖縄から搬出される生産物の増加を図る事業や県内における自給率の向上を図る事業に要する経費を総合的に支援することにより、沖縄の製造業等の域外競争力強化を促進し、沖縄の産業の振興を目的とする。

事業実施主体	沖縄東京計装株式会社
プロジェクト名	先端技術搭載ロボットアームによる夜間無人自動生産ライン構築及び生産能力大幅拡張
事業内容	ロボットアームを用いた24時間稼働を実現するための自動生産ラインの構築 具体的には、①クリーンルームの拡張、②①に向けたインフラ整備、③自動化ラインを拡充するため自動化推進部創設、を実施した。ロボットアームの導入や超純水製造装置の導入等を行い半導体生産用計装機器(流量コントローラ)の生産体制の構築及び生産ラインを自動化することで生産能力を増強した。
補助事業の内容	<p>①クリーンルームの拡張 生産ラインを拡充するため、クリーンルームの拡張を実施 拡張されたクリーンルームにロボットアーム4台を導入</p> <p>②クリーンルーム拡張に向けたインフラ整備 流量コントローラの性能検査及び洗浄では大量の純水を使用 生産量を増やすために新たな超純水製造装置の導入</p> <p>③自動化ライン拡張のための自動化推進部の創設 B・C工程の自動化による余剰人員を自動化推進部に配置し、D工程の半自動化に向けて、作業補助ロボットの導入、検討を開始 自動化推進部の中に研究開発室を設け、生産ラインの拡充と人材育成を行う</p> <p>A. 組立 (アSEMBリ) → B. 流量センサ校正 測定精度確認 → C. バルブ調整 制御機能確認 → D. 洗浄 最終検査</p>
補助事業の効果と今後の展望	ロボットアームを使った生産工程 B 及び C の自動化 従来：手作業(工員1名あたり) 日中のみ 1日10台 結果：自動化(オペレーター1名あたり) 日中 45台 夜間 43台 今後もさらなる自動化推進により生産性の向上を目指す。ロボットアームを使った生産技術を県内の製造業に普及させることも視野に入れている。
域外への搬出	製品は那覇空港を經由して、シンガポール、韓国をメインにアジア圏及び米国等諸外国へ出荷



新設した超純水製造装置



拡張したクリーンルーム内の自動生産ライン